

## 家の中を見渡してみる



食器で溢れかえる流し台



コタツの上のみかん



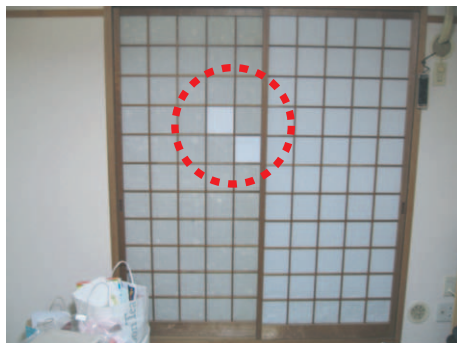
居間の壁に掛けた時計



ヒーターで乾かしている洗濯物



冷蔵庫に貼った伝言



穴の開いたところを応急処置した障子

僕らの家の中には生活の中で「使うもの」がたくさんある。食器で溢れかえる流し台、コタツの上のみかん、居間の壁に掛けた時計、ヒーターで乾かしている洗濯物、冷蔵庫に貼った伝言、穴の開いたところを応急処置した障子。家の中はプライベートな空間だ。つまりそこは「自分のための場所」である。だからこれらの「使うもの」は、家の主である僕らが家の中での生活を楽しく・便利に過ごすために最適に配置され、「自分なり」の使い方が許される。

## 家の外を見渡してみる



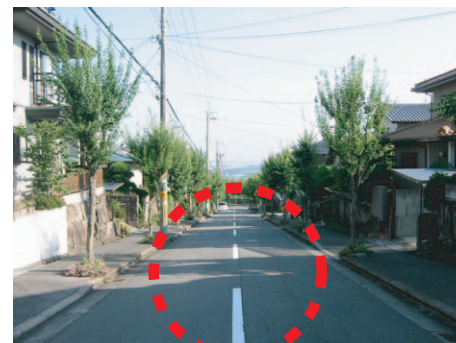
高層化した都市



洗練されたデザインの建物



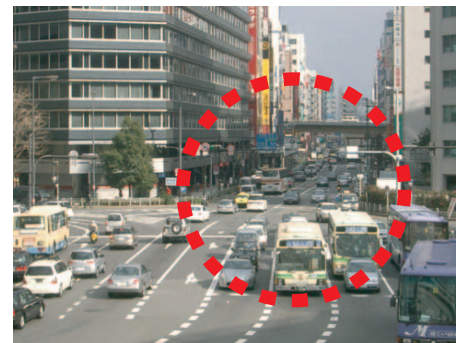
アートと融合した広場



きれいに舗装された街路



行政が管理する樹木



交通量の多い幹線道路

家の外に目を向けてみる。高層化した都市、洗練されたデザインの建物、アートと融合した広場、きれいに舗装された街路、行政が管理する樹木、交通量の多い幹線道路。家の外はパブリックな空間だ。本来そこは「みんなのための場所」である。でも「みんなのための場所」であるはずの家の外は、家の中のように「自分なりの使い方」ができなくなっているのが現状だ。「みんなのための場所」は実は「誰のものでもない場所」になってきている。